

試合番号	373	試合会場	黒部市総合体育センター	観客数	1,006				
開始時間	13:00	終了時間	15:06	試合時間	02:06	主審	浅井 唯由	副審	饗庭 和恵
KUROBEアクアフェアリーズ	通算 2勝 11敗 ポイント: 9	26 第1セット 28	トヨタ車体クインシーズ	通算 7勝 6敗 ポイント: 21					
監督コメント	(コーチ:小野澤 裕太) 能登半島地震における被災者の方々へ心よりお見舞い申し上げます。バレーボールができることに感謝し、少しでも皆様へ力をお届けできるよう全力を尽くします。 本日は相手の強い部分もあり、主導権を握られる場面もありましたが、内容は良い部分もあり、そこは継続し修正する箇所を見直し、切り替えて戦いたいと思います。 本日はたくさんの応援ありがとうございました。	1	15 第2セット 25	3	監督コメント	前回の対戦でフルセットで悔しい敗戦をしたKUROBEアクアフェアリーズを相手に3-1で勝つことができ非常にうれしく思います。この1戦は、KUROBEも粘り強く戦ったため苦しいゲームでした。最後まで気持ちを切りさず自チームのやるべきこと、それから相手のオフェンス対応をしっかり実行することができたゲームでした。 引き続きリーグ戦が続きますが、応援よろしくをお願いします。			
要約レポート	現在、リーグ戦6位のトヨタ車体クインシーズと、前対戦ではフルセットの末に勝利した同11位のKUROBEアクアフェアリーズとの対戦。前日、善戦するも敗戦した両チーム、どう切り替えて戦うかが注目。第1セット、序盤、KUROBEがわずかにリードしトヨタ車体が追い掛ける展開となる。トヨタ車体が0-13からファンヘック、鴨原のスパイクなどで3連続得点を2度重ね逆転するも、すぐにKUROBEが追いつき、接戦のままデュースとなる。トヨタ車体はファンヘック、KUROBEはコラムが得点しデュースを重ねる。トヨタ車体が26-26から長野、ファンヘックがスパイクを決め先取した。第2セット、序盤からトヨタ車体は大川、鴨原で連続得点し流れを掴むと、9-6からファンヘックのスパイクなどで4連続得点し一気にリードを広げ、流れを掴む。KUROBEはセッターをはじめアタッカー一層も交代させて流れを変えようとするも叶わず、大差でトヨタ車体が連取した。第3セット、KUROBEは前日活躍した梅津を先発させ、セッターを早々に佐藤(彰)に交代させるも、トヨタ車体のファンヘックが得点を重ね13-7とリードする。しかし、KUROBEがここから驚異的な追い上げを見せる。佐藤(彰)のスパイクなどで徐々に点差を詰め、15-19から梅津のスパイク、山口のブロックに、トヨタ車体のミスも重なり5連続得点し逆転する。一時逆転されるもすぐに追いつき、デュースの末KUROBEが奪い返した。第4セット、トヨタ車体が11-8から長野のスパイク、大川のブロックなどで5連続得点し一気にリードを広げる。トヨタ車体はKUROBEに連続得点を2度与えたのみで、このセットを大差で取り、前対戦のリベンジを果たした。								
試合番号	374	試合会場	黒部市総合体育センター	観客数	1,006				
開始時間	15:55	終了時間	17:57	試合時間	02:02	主審	澤 達大	副審	森口 豊
埼玉上尾メディックス	通算 9勝 4敗 ポイント: 27	26 第1セット 24	JTマーヴェラス	通算 13勝 0敗 ポイント: 37					
監督コメント	「決まった」と思ったスパイクが何度も拾われ、無敗で首位を走るチームの強さを感じました。JTマーヴェラスの速いオフェンスに対応するために、選手たちは準備を早くし、一つ一つのボールに食らいついてくれました。今日のクオリティで日々の練習を積んでいけば、突破できると信じています。負けたことは悔しいですが、この経験をみんなで分かち合い、突破のエネルギーに変えていきます。 この二日間大変な状況の中で、会場で応援していただきました皆様、ありがとうございました。引き続きご声援をよろしくお願いいたします。	1	22 第2セット 25	3	監督コメント	本日もたくさんの応援ありがとうございました。 今日の試合は、前半から勢いを持って戦っていきけるように、全員が心も体も頭も、しっかり準備をして今日の試合に臨みました。第1セットは相手の最初の攻撃は防いでいるものの、そこからの攻撃の精度が悪く、なかなかリズムに乗ることができませんでした。第2セット以降は、立て直して最後まで奮闘することができたことは良かったです。 次戦に向けても、自分たちの中の精度を高めていき、どの立場でも自分の役割を全うしていきけるように全員で最高の準備をしていきたいと思えます。 引き続き熱い応援よろしくお願いいたします。			
要約レポート	チーム技術集計では、現在、サーブ効果率、サーブレシーブ成功率ともに1位のJTマーヴェラスと、サーブ効果率は3位とするも、サーブレシーブ成功率が12位の埼玉上尾メディックス。リーグ戦1位と3位との対戦。第1セット、立ち上がり埼玉上尾にサービスミスなどのミスが3回続くが、JTに連続得点を与えず、ロブ、黒後が得点を重ね13-8とリードする。しかし、ここからJTが途中交代の和田のスパイクなどで3連続得点を2度重ね、17-17と追いつく。埼玉上尾は佐藤が、JTは黒後が得点を重ね、デュースにまでもつれる接戦となる。最後は埼玉上尾の岩崎がサービスエースを決め先取した。第2セット、JTはセッター東を先発させる。序盤、JTが林、和田のスパイクなどで8-3とリードし主導権を掴んだかに見えた。しかし、埼玉上尾がロブ、青柳の活躍で5連続得点し追いつくと、そこからは一進一退の展開となる。JTが20-20から途中交代のドルズ、和田のスパイクなどで3連続得点し埼玉上尾を突き放し奪い返した。第3セットは、接戦の展開が進むも、JTが13-14から和田のスパイク、小川のブロックなどで3連続得点し逆転すると、このセットも途中交代のドルズが強烈なスパイクで得点を挙げリードを広げる。埼玉上尾もロブのスパイクで逆転するも点差を埋められず、JTが連取した。第4セット、埼玉上尾はロブに代えて黒目を先発させる。JTは7-9からサンティアゴの3連続スパイクを含め5連続得点で逆転すると、終盤にもリリーフサーバー東のサービスから5連続得点し24-17とする。最後はJTのサンティアゴが強烈なスパイクを決めて勝利し、連勝を続けた。								
試合番号	375	試合会場	滋賀ダイハツアリーナ (滋賀アリーナ)	観客数	1,327				
開始時間	11:35	終了時間	13:44	試合時間	02:09	主審	種元 桂子	副審	佐々木 伸子
PFUブルーキャッツ	通算 4勝 9敗 ポイント: 11	22 第1セット 25	岡山シーガルズ	通算 4勝 9敗 ポイント: 13					
監督コメント	第1、2セットは岡山シーガルズさんのサーブディフェンスに苦しめられたが、第3セットは動きも良く、とり切る事ができました。 第4セットは私の判断ミスで良い流れに水を差してしまい、申し訳なく思う。 来週のゲームに向けてしっかり準備をしていきたい。本日も応援ありがとうございました。	1	23 第2セット 25	3	監督コメント	昨年、敗因となっていたことのいくつかがこの2日間、改善できてきたことで際どいプレーがチームのポイントとなり、いい流れができてきました。第3セットのセットポイントでの焦りが反省すべき点で、次週までに修正し、今できることの精度を上げていきたい。 年明け早々の試合、たくさんの方々の熱い応援に後押しされ、結果が出せました。本年もよろしくお願いいたします。 最後になりましたが、能登半島の震災で被災された方々に少しでも早くご支援が届きますことをお祈り申し上げます。			
要約レポート	連勝を狙う岡山シーガルズと連敗をためたいPFUブルーキャッツの一戦。第1セット、終始点の取り合いが続き最後まで混戦。最後は岡山がセットを先取。第2セットも同じような展開で、終始点の取り合い。どちらが流れをつかむか。第2セットの最後は岡山・長瀬のブロックでセットを連取した。第3セットも両チームの意地のぶつかり合い。後がないPFUもバルデスのスパイクや、細沼のブロックなどで第3セットを取り返す。第4セット、第3セットを取り返した勢いで第4セットも奪ったPFU。しかし、岡山は金田と変わって入った中本がブロック、レシーブ、スパイクに大活躍。後半、PFUは志摩のスパイクなどで食らいつくものの最後岡山は中本がスパイクを決め、勝利をおさめた。								
試合番号	376	試合会場	滋賀ダイハツアリーナ (滋賀アリーナ)	観客数	1,327				
開始時間	14:35	終了時間	16:09	試合時間	01:34	主審	長崎有紗	副審	富田博一
東レアローズ	通算 6勝 7敗 ポイント: 17	25 第1セット 22	プレステージ・インターナショナルアランマーレ	通算 0勝 13敗 ポイント: 1					
監督コメント	今シーズン最後のホームゲームを2連勝で飾ることができて良かったです。 第1セットと第3セットはゲームの入りが悪く、流れをプレステージ・インターナショナルアランマーレさんに持っていかれるようになってしまいましたが、苦しい状況でも我慢して、自分達で流れをつかむことができました。 リーグ後半戦、しっかり準備して、粘り強く戦っていきますので、引き続き応援よろしくお願いいたします。 本日はありがとうございました。	3	25 第2セット 18	0	監督コメント	昨日の敗戦からまずはやるべき仕事を整理し、コートの中でもっと気持ちを上げていくというのでぞんざい戦った。 第1セットは準備してきたことが出てきていましたが、重要な局面で取り切れず、先攻されてしまいました。第2セット序盤は、やりたいことごとくまく機能していましたが、中盤以降、相手の修正してきたことに対して、こちら側がアジャストできず、苦しい展開となってしまいました。ハーフタイムをはさみ、こちら側も修正を加え、スタートをきることができましたが、重要な局面で失点してしまい悔しい敗戦となりました。速い西の地に足を運んでくださったshiptateの皆様にも感謝申し上げます。気持ちを切り替え、次戦に向けて準備していきます。ご声援よろしくお願いいたします。			
要約レポート	ホームゲーム2連勝を目指す東レアローズと、ディビジョン1初勝利を目指すプレステージ・インターナショナルアランマーレとの対戦。第1セット序盤はサイドアウトの繰り返しとなったが、中盤、東レはヌワカロールの連続スパイクポイントで流れをつかむ。アランマーレも岡村のスパイクで何とか流れを断ち切ろうとしたが、東レ関の絶妙なスピンもあり、このセットを取る。第2セットも東レはヌワカロールの勢いが止まらない。ブロックの上から強烈なスパイクを打ち続け、アランマーレのレシーブをはじくスパイクを連続で決めていった。アランマーレもメソマチにボールを奪い何とかラリーを切ることもするも、そのまま東レがこのセットを取った。第3セット、序盤アランマーレはメソマチが立て続けにスパイクを決め、4-0と流れを作る。続くニカルタイムアウト後、東レはボールを西川に集め、14-14まで追いつく。大崎のサービスエースを皮切りに、レシーブから攻撃のリズムを立て直し、関のブロックを感ずすスピン回りでアタッカーが次々にスパイクを決めていき、このセットも連取した。流れを一度も相手に渡さなかった東レがセットカウント3-0で勝利し、ホームゲーム2連勝を飾った。								

※本票の著作権は、一般社団法人ジャパンバレーボールリーグに帰属します。

試合番号 : 377		試合会場 : 照葉積水ハウスアリーナ (福岡市総合体育館)				観客数 : 2,296				
開始時間 : 12:00		終了時間 : 14:32		試合時間 : 02:32		主審 : 平田 敬基 副審 : 明井 寿枝				
久光スプリングス		通算	10 勝 3 敗 ポイント : 29	21 第1セット	25	デンソーエアリービーズ				
監督コメント	デンソーエアリービーズはディフェンスが良いチームということで、とにかく粘り負けないようにしっかり準備をした。試合の中では、自分たちで点数を取りに行く姿勢を忘れずに戦ったと思う。また、途中出場した選手たちも頑張ってくれたことが一つの勝因だと感じる。2日間たくさんの応援、ありがとうございます。引き続きよろしくお祈りします。			25 第2セット	22	監督コメント	連勝の勢いで今日も勝利できるような、チーム一丸となり試合に臨んだ。序盤から相手の攻撃をしのぎながらチャンスを作り、その後攻め返す展開で試合を進めることができた。しかし、中盤から相手サーブに押し込まれ、ミスが増えリズムを失ってしまった。その中でも相手に離されず、食らいつくことができたのは、チームの成長を感じるいい収穫だった。次の試合に向け、いい準備と修正をして臨みたい。本日もたくさんのご声援ありがとうございます。			
				3	23 第3セット				25	2
				25 第4セット	22					
				15 第5セット	7					
要約レポート 昨日、福岡でのホームゲームの敗戦により4位に後退した久光スプリングスと、5連勝と勢いに乗る6位デンソーエアリービーズの一戦。第1、2セットともスタートから点の取り合いとなる。第1セットは、終盤、ロザマリアのバックアタックで一歩リードしたデンソーが、最後は中元がアタックを決めセットを先取るが、第2セットは久光が中島の移動攻撃や大竹のクイックなどで中盤にリードを広げて逃げ切り、セットを奪い返した。第3セット、デンソーが立て続けに久光の攻撃をブロックするが、久光もアダムスが3連続アタックやブロックを決め、デンソーにリードを許さない。終盤まで互いに相手の強打、フェイントを好しシーブで繋ぎ、激しい点の取り合いが続くが、デンソーは横山のクイックでブレイクすると、ロザマリアがバックから強烈なアタックを立て続けに決め、このセットを奪った。第4セット、久光はこのセットから出場した濱松のブロック、速攻でリードすると、栗のサービスエースやブロック、長岡の強打などでゲームを優位に進める。デンソーも山下がコースを狙ったアタックで粘るが、久光・濱松がブロード、Aクイックとコート幅いっぱいを使ってアタックを決めると、最後も濱松がブロード攻撃を決め、試合はフルセットにもつれ込んだ。最終セット、このセットも濱松のアタックが牙を渡る。序盤、デンソーにリードを許すが、濱松のブロード攻撃とアダムスの強烈なアタックで追いつくと、中島がバックアタックを連続で決め逆転、さらに濱松のブロード攻撃、中島のサイド攻撃でリードを広げ、最後はデンソーのアタックがアウトになり試合終了。久光がフルセットの熱戦を制し、福岡でのホームゲーム2戦目を勝利で飾った。										

試合番号 : 378		試合会場 : 照葉積水ハウスアリーナ (福岡市総合体育館)				観客数 : 2,296				
開始時間 : 15:30		終了時間 : 16:48		試合時間 : 01:18		主審 : 木内 誠二 副審 : 吉岡 奈々				
NECレッドロケッツ		通算	11 勝 2 敗 ポイント : 32	25 第1セット	19	日立Astemoリヴァーレ				
監督コメント	本日もたくさんの応援ありがとうございます。試合の入りから高い集中力でクオリティの高いバレーボールを展開できたことが、勝利に繋がったと感じています。ブロックディフェンスの部分で課題が見えたので次週のホームゲームに向けて修正していきたいです。2日間、福岡にまでたくさんのクルーの方々に応援に起こしていただいたこと、大変嬉しく感じています。次週はホームゲームとなります。引き続き熱い応援をよろしくお祈りします。			25 第2セット	19	監督コメント	NECレッドロケッツのサーブと粘りのあるディフェンスに徐々に耐え切れなくなり、こちらのミスが先行してしまう苦しいゲーム展開になってしまいました。特にセカンドボールの差が大きいと感じたので、NECのクオリティの高いプレーから学んで、我々も自分たちのプレーレベルを上げていかなければと思います。来週はホームゲームになるので、何としましても勝ちたいと思います。			
				3	25 第3セット				13	0
					第4セット					
					第5セット					
要約レポート 昨日の勝利で2位に浮上したNECレッドロケッツと7位日立Astemoリヴァーレとの一戦。第1セット、NECは古賀、ドルーズを中心に攻撃を組み立ててリードを広げる。その後も山田、甲のクイックやアチャラポーンの強打で試合を終始優位に進めたNECがセットを先取した。第2セットも序盤からNECがペースを握る。日立Astemoのオクム大庭、長内の強打やフェイントを拾い、ドルーズ、古賀の攻撃に繋げて点数を重ねる。終盤、日立Astemoはオクム大庭が強打を決めて粘るが、前半のリードを生かしたNECが逃げ切りセットを連取する。第3セット、ミスの目立つ日立Astemoに対し、NECはアチャラポーンのアタック、ブロックなどで徐々にリードを広げていく。NECはその後攻撃の手を緩めず、山田のサービスエースや甲の速攻などでさらに点数を重ねると、要所は古賀、ドルーズが確実にアタックを決めて一方的な展開でこのセットも奪い、ストレート勝ちで8連勝を飾った。										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :		
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		
		通算	- 勝 - 敗 ポイント :	第1セット				
監督コメント				第2セット		監督コメント		
				第3セット				
				第4セット				
				第5セット				
要約レポート								

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :		
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		
		通算	- 勝 - 敗 ポイント :	第1セット				
監督コメント				第2セット		監督コメント		
				第3セット				
				第4セット				
				第5セット				
要約レポート								